

# 講演会 Special Sessions

航空宇宙に係る著名な先生方を講師にお招きし、  
広く一般住民や地域産業関係者への普及・啓発を図っています。

2020

## 航空宇宙講演会 in Tochigi 2020 online

### ホンダジェット、世界一への挑戦 ～一枚のスケッチから事業化まで～

令和3年2月27日(土)  
オンライン(Zoom ビデオウェビナー使用)

講師:  
Honda Aircraft Company 社長兼CEO 藤野 道格 (ふじの みちまさ) 氏

美しい機体、クラス最高水準の最高速度、最大運用高度、燃費性能、静粛性および室内サイズを実現した小型ビジネスジェット機「ホンダジェット」。この圧倒的な性能を可能にしたのが、ホンダジェットの最大の特徴である「主翼上面エンジン配置」です。このアイデアはかつて藤野氏がカレンダーの裏に書いたというスケッチからスタートしています。難しい航空事業への参入に、様々な難題を打ち破り、2017年より3年連続で小型ビジネスジェット機出荷数世界第1位を達成し、ベストセラーとなったホンダジェットの技術開発から事業化までの軌跡について、ホンダジェットの生みの親で、現在も総責任者としてホンダジェットの発展に取り組んでおられる藤野氏で本人からお話頂きました。

参加人数:約600名



現在、世界 40 か国、170 機飛んでいるホンダジェット。  
1 枚のスケッチから始まった、主翼上面エンジン配置という挑戦的な設計を、揺るぎない信念のもと、シミュレーションと実験を繰り返し重ねて、技術実証機初フライトへと導きました。  
更に事業化に向け、主マーケットである米国を本拠地とした開発、米国連邦航空局FAAのマナー銃習熟等の努力の後、認定のための試験、フライトを乗り越えての感動のFAA認定授与式、そして、量産機としての素晴らしい仕上がりで世界売り上げNO1への4年連続達成と、数々の困難を乗り越えて達成した偉業を、会社の組織づくりとマネージメントも含めて、静かな語り口でわかりやすくご講演頂きました。  
質問にも丁寧に、真摯にお答え頂き、航空業界の専門家だけでなく、小学生から高校生、大学生、一般の方々まで、勇気と感動を与えて頂きました。

講師 略歴  
藤野 道格 (ふじの みちまさ)  
Honda Aircraft Company社長兼CEO 本田技研工業(株) 常務執行役員

1960年生まれ。東京大学工学部航空学科卒。  
日本人として初めて米国航空宇宙学会の“Aircraft Design Award”、米国SAE Internationalの“ケリー・ジョンソン賞”、国際航空科学会議の“ジュ・コフスキー賞”を受賞。また、航空宇宙産業への貢献が評価され、イーロン・マスク、ジェフ・ベゾスなどが受賞した“Living Legend of Aviation”も受賞している。日本でも技術経営・イノベーション(経済産業大臣賞)、日本産業技術大賞(内閣総理大臣賞)など受賞多数。  
米国航空宇宙学会、英国王立航空学会フェロー、米国工学会アカデミー会員に選出。



## 2019

### 航空宇宙講演会 in Tochigi 2019

#### はやぶさ2の挑戦

-プロジェクトを率いる難しさと面白さ-

令和元年12月11日(水)

宇都宮市文化会館

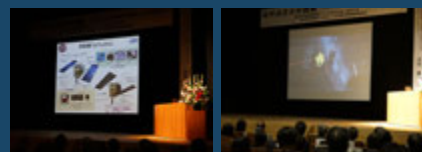
はやぶさ2プロジェクトマネージャー

JAXA宇宙科学研究所

宇宙飛行工学研究系 准教授

津田 雄一 氏

はやぶさ2は2018年6月に小惑星リュウグウに到着し、以降1年のうちに着陸ロボットによる地表移動探査、人工クレータの生成、2地点への着陸と試料採取、さらにそのうち1回は地下物質の採取に成功しました。これらは全て世界初の技術であり、科学的にもとても大きな成果が期待されます。講演では、最新のはやぶさ2の状況を紹介しつつ、はやぶさ2の目指す宇宙探査、それを成功に導いたチーム作りについてお話し頂きました。



## 2018

### 航空宇宙講演会 in Tochigi 2018

ボーイング社と日本のパートナーシップ、航空機産業を取り巻くビジネス環境とその未来について

平成30年12月5日(水) 会場:宇都宮市文化会館

ボーイング・ジャパン 社長 プレット C グリー 氏



## 2017

### 航空宇宙講演会 in Tochigi 2017

#### 宇宙生命は存在するか?

一天文学からのアプローチ

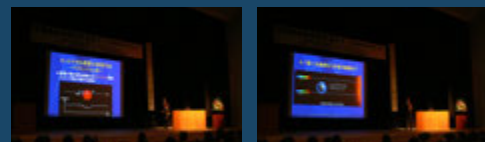
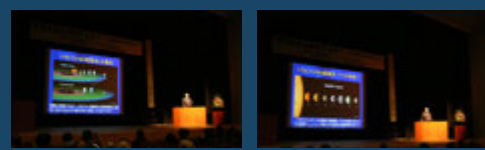
平成29年12月6日(水)

会場:宇都宮市文化会館

自然科学研究機構 国立天文台 副台長 教授

総合研究大学院大学教授 理学博士

渡部 潤一 氏



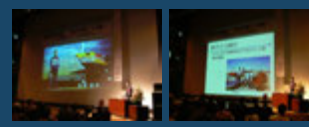
## 2016

### 航空宇宙講演会 in Tochigi 2016

目標達成の秘訣~自分を磨く3分間~

平成28年12月8日(木) 会場:栃木県総合文化センター

レッドブル・エアレース・パイロット/ブライトリング・パイロット 室屋 義秀 氏



## ~2015

2015 超小型衛星による新しい宇宙開発・利用への挑戦

東京大学 大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 教授 中須賀 真一 氏

2014 宇宙はどのように生まれたのか? -インフレーション理論:観測的実証への期待-

自然科学研究機構 機構長 佐藤 勝彦 氏

# 研修会

TASC会員を対象に、航空宇宙に係る最新の技術情報やビジネス動向に詳しい先生方をお招きして、研修会を行っております。

### 第111回月例研修会

令和3年1月27日(水) オンラインにて開催【Zoom Webinar使用】

講師:

一般財団法人 日本航空機開発協会(JADC) 常務理事

戸井 康弘(とい やすひろ)様

テーマ:

『民間航空機に関する世界動向についてーコロナ禍の世界航空業界の現状と展望についてー』

COVID-19感染拡大への辛抱が続きます。

感染防止への人の移動を遮断するという、航空業界にとっては本質的な試練の局面にあります。国際社会の発展に沿った将来に向けた航空需要の成長予想は変わりません。航空エコシステム全体で、旅客需要、エアライン業界、機体OEM、そしてサプライチェーンとやや時間差のある回復展開が見込まれますが、デジタル化がこの回復の流れを如何に促進させるか注目されます。また、脱炭素やデジタル化での社会革新へ、航空の取組みも期待されます。航空の活性化が世界を繋いでの経済回復の指標になるとも言えるでしょう。

今回はJADCが調査している航空バリューチェーンの現状と、航空技術革新への動きを、広く紹介頂きました。

参加者:105名



### 第110回月例研修会

令和2年12月3日(木) オンラインにて開催【Webex Meetings使用】

講師:

三菱重工工作機械株式会社 取締役CBO 微細加工システム事業統括

二井谷春彦(にいたに はるひこ)様

テーマ:

『金属3Dプリンタの技術動向と三菱重工の大型部品積層技術』

近年急速に普及が進むAM(Additive Manufacturing)分野における、航空宇宙を含む各業界での技術動向、アプリケーションをご紹介頂きました。又、「技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構(TRAFAM)」の成果を活用し、従来にない高さ1mクラスの大型品の高精度・高強度積層を可能にした三菱パウダDED方式3次元金属積層造形機“LAMDA”をご紹介頂きました。

参加者:99名



### 第109回月例研修会

令和2年9月29日(火) オンラインにて開催【Webex Meetings使用】

講師:

(株)NTTドコモ 法人ビジネス本部 5G・IoTビジネス部 ビジネスデザイン担当課長

兵頭正信(ひょうどう まさのぶ)様

テーマ:

『5G時代のビジネス協創に向けた取り組み ～さまざまなパートナーさまと創る未来～』

第5世代移動通信システム「5G」が2020年3月25日より提供開始されました。本講演では、5Gの概要、5Gがもたらす産業、ものづくりへの影響について、さらには5Gを活用したNTTドコモが目指す地方創生を始めとする社会課題の解決貢献についてユースケース(事例)とともにご紹介頂きました。

参加者:72名



### 第108回月例研修会 令和2年2月13日(木)

講師: 国際産炉開発機構(IRID)開発計画部 部長 奥住 直明(おくすみ なおあき)様

テーマ: 『国際産炉開発機構(IRID)における1F産炉技術開発の状況』

### 第106回月例研修会 令和元年10月2日(水)

講師: JAXA 宇宙科学研究所 太陽系科学研究系 教授 中村 正人(なかむら まさと)様

テーマ: 『金星探査機の開発と科学的成果～世界初の金星気象衛星あかつき～』

### 第107回月例研修会 令和元年11月19日(火)

講師: 楽天(株)コマースカンパニードローン・UGV事業部

ジェネラルマネージャー 向井 秀明(むかい ひであき)様

テーマ: 『ドローンが実現する新たな社会インフラ』

### 第105回月例研修会 令和元年7月10日(水)

講師: JAXA 航空技術部 航空システム研究領域主幹 田辺 安忠(たなべ やすただ)様

テーマ: 『空飛ぶクルマ～垂直離着陸機の課題～』

## 主な活動-3 展示会出展等 特別企画見学会

これまで定期的に行っておりました展示会出展につきましては、昨今のコロナ禍の影響によりまして、展示会に於きましては、令和3年度に予定されておりました国際航空宇宙展(JA2021)が中止となり、2024年開催予定となりました関係によりまして、参加の検討、準備中となります。

年に1回のペースで実施しておりました見学会に於きましても、令和2年度の見学会に関しまして、先述のコロナ禍の影響を鑑み、安全の確保が第一と考え、中止とさせて頂きました。令和3年度の見学会は、開催の方向で検討中です。